



住友別子銅山

一本松婦人傷害事件真相調査報告

一月十七日午後一時頃突如として不安の氣漲りたり別子銅山

本松に於ける婦人傷害事件の真相を告ぐ

そは今日既に本争議が四十有余日に亘りて且つ會社の頑迷なる爲

に未だ解決の曙光なく執方凶險悪の状況日につるゝ結果を憂ふるが

故である。吾等は金力もなし又権力もなし只團結の力を以て戦

つてゐるが故に吾等が勝利の重大なる鍵は一人も少く罷業にも參

加せしゝの結束堅く冷静に資本本家と戦ひ組織ある力によりてのみ天

下へ富貴を住友たりとも屈伏せしむるを確信するものである。

永き四十有余日は一日一日我等が陣容を益々強し我等が戦ひ有利になり

来るを雄辯に証明してゐる幾何回の小奇合せりもあり、多数の同志は

今尚獄中上ありと雖も我等は切に感情を抑へ自重今日に至つた。

吾等は自重すればする程會社はあせり徒に〇〇の力を乱用するかの如

思ゆる程に暴暴争を敢えてなし、我等が感情的暴暴争に出ずるを待つ

もの如くある